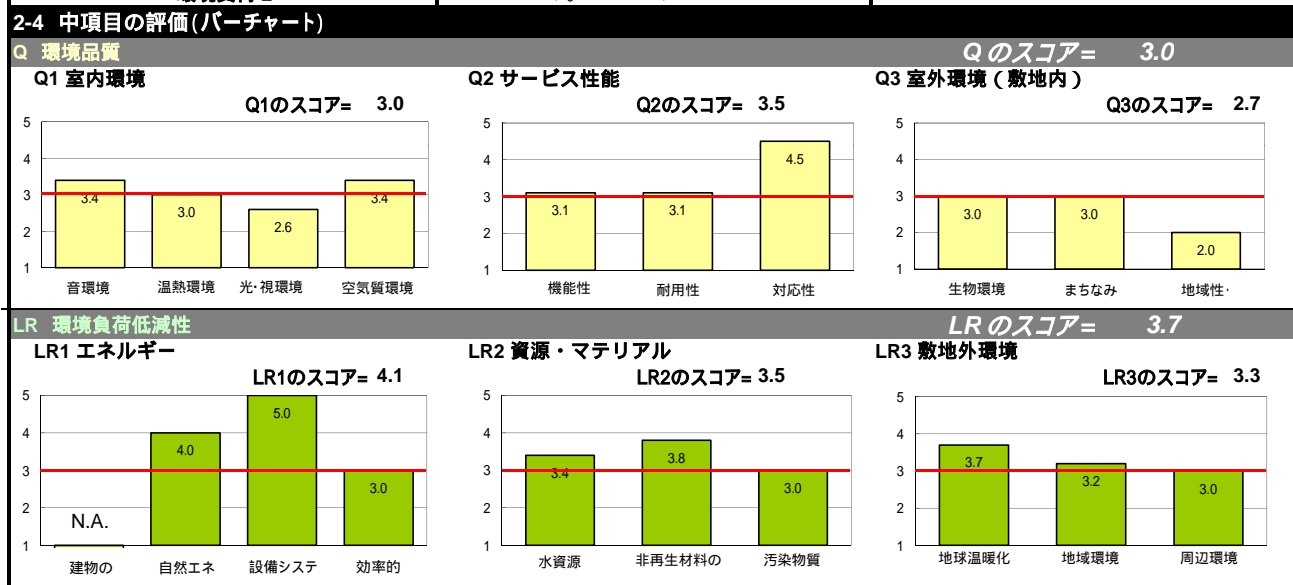
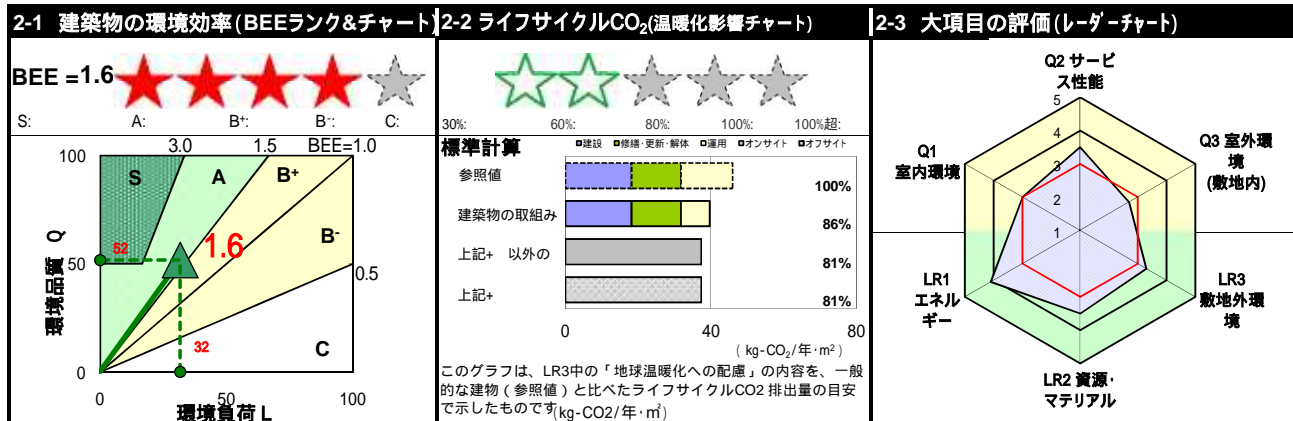
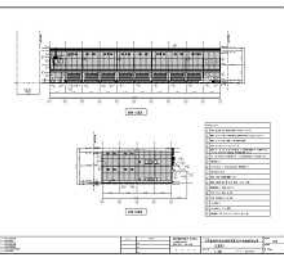


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本通運株式会社相模原営業支店中津倉庫	階数	地上2F
建設地	愛甲郡愛川町中津字桜台4081	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	39人
気候区分	地域区分	年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年8月 予定	評価の実施日	2012年10月17日
敷地面積	9,774 m ²	作成者	日通不動産(株)東京支店一級建築士事務所
建築面積	4,852 m ²	確認日	2012年10月17日
延床面積	8,811 m ²	確認者	日通不動産(株)東京支店一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地外周に緑を多く配した計画とし、地球環境負荷の低減に取り組んだ。	杭基礎を採用し、発生土量を極力抑えた。
Q1 室内環境 居室の外部に面する窓にはブラインドやLow-eペアガラスを採用し、熱負荷低減に配慮した。	Q2 サービス性能 ゆとりある天井高・階高とし、柔軟性を高めた。
Q3 室外環境(敷地内) 西の住宅地に配慮して、建物配置を東に寄せ住宅地側を空地とすることで圧迫感をなくした。	LR1 エネルギー 高効率な機器を採用し、エネルギーの削減を図った。
LR2 資源・マテリアル 人体への影響や地球環境に配慮した材料を採用した。	LR3 敷地外環境 道路の通過交通に支障を及ぼさないように西側及び北側の道路二面にそれぞれ出入口を設けた。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される